



赤ちゃんのための お母さんの口腔ケア

横浜市妊婦歯科健診受診券でお口の状態を無料で健診しておきましょう。

妊娠中の

歯科治療と口腔ケア

妊娠中は、時期により使用できる薬剤や処置に制限があります。妊娠初期は、むし歯による痛みなどの急性症状に対する応急処置にとどめ、安定期に処置を受けていただくと母体やおなかのお子様に対する負担が少なくて済みます。むし歯がなくてもお口の衛生状態を保つよう、歯科医院での口腔ケアが大切です。

妊娠中の歯周病は、早産・低体重児出産の リスクを高めるといわれています！

妊娠中は、つわり等により歯みがきが上手く出来ないことも多く、それに加えてホルモンバランスの変化等により、歯肉に炎症が起きやすい時期でもあります。

重症化すると歯周炎に進行し歯を失うだけでなく、**さまざまな影響を体にも与えることがあります。**歯周病の影響により、早産・低出生体重児などを含む妊娠出産合併症の発現率を高めるリスク因子であると報告もあります。**歯周病の早期治療と継続的な口腔ケアが大切です。**

妊娠中の歯科治療について

妊娠中の歯科治療は、時期により使用できる薬剤が変わります。

妊娠初期は、むし歯による痛みなどの急性症状に対する応急処置にとどめ、安定期に治療を受けることをおすすめします。緊急の場合や何か困ったこと、不安なことがある場合は、かかりつけ歯科医にご相談ください。

① レントゲンについて

鉛で出来ている防護エプロンをすれば問題ありません。

② 麻酔について

通常使用される麻酔は無痛分娩にも使用される安全なものです。

③ 飲み薬について

時期と状態により使用できないものもあります。産科担当医と連携を取り安全に使用していきます。



このステッカーが貼ってある医療機関は
ライフステージにあわせた保健指導をおこなっております

横浜市歯科医師会妊婦歯科健診実施医療機関は裏面をご覧ください。